

三福工業株式会社

■企業プロフィール

設立年	1948年4月
所在地	佐野市植下町1248
業種	ゴム・樹脂の精練加工と樹脂発泡体製造販売
労働者数	172名（男性159名、女性13名）



栃木労働局では、令和2年2月27日、フローリングの床材の裏打ち材などの建築資材から、玩具など日用品まで、暮らしにかかわる多くのものに使われている樹脂発泡材のメーカーである「三福工業株式会社」を訪問し、三井福太郎代表取締役、森下武夫取締役総務部長、三田修司総務部課長と、働き方改革の取組等について、意見交換を行いました。

ポイント

➤ **働きやすさと収益力の両立がキーワード。**①「まず、やってみよう」精神で、時間外労働の上限時間の設定、②傷病休暇制度の新設などを次々に実行に移すとともに、③経営者マインドを持って仕事をしてもらうために、社員全員を対象に、毎月、部署毎の業績を提示し、モチベーションアップを図っています。

<働きやすさと収益力の両立>

●三福工業では、「小さな分野で必要とされる会社になる」、「社員が快適な生活ができる会社づくり」が経営方針で、働きやすさと収益力の両立に取り組んでいます。

- ・樹脂発泡材の製造は、計量、練りから始まります。これを大きなシートにし、プレスし、製品に合った形にカットしていきます。製造にあたってスキル・専門知識が必要なことは当然ですが、さらに、機械メーカーと独自の技術・使用に合わせた機械を開発していくことも必要です。責任を持ってしっかり仕事をしてもらうため、全員がフルタイムで、パート社員はいません。それだけに、働きやすさは大きな問題です。
- ・時間外労働を減らすため、同社では、2011年に、社内で上限時間（月40時間）を定め、超過した場合は、直属の上司が原因と対策を所属長へ報告し、所属長はさらに社長にこれを報告することになっています。併せて、多能工化など業務改善も進めたことにより、2017年度に月平均19.2時間だった時間外労働は、2018年度には16.3時間に減少しました。
- ・「急な事態に備えて年次有給休暇を残したい」との社員の声にこたえて、年20日間の特別休暇制度（傷病休暇）を設けるなど、安心して年次有給休暇が取得できる環境を整備しました。これにより、2017年度に10.7日だった平均年次有給休暇取得日数は、2018年度には11.4日に増えました。
- ・社員1人1人が「経営者」の意識を持ち、主体的に仕事に取り組めるよう、毎月5日には、前の月の部署別の実績のデータを社員に示しています。何が良かったか・悪かったかを検討し、収益力ア



三井福太郎 代表取締役（右）
森下武夫 取締役総務部長（中央）
三田修司 総務部課長（左）

ップを図ることができますし、問題があれば、すぐに手を打つことができます。さらに、これを処遇に反映して、社員へのモチベーションアップを図っています。

- ・社員の仕事と家庭の両立を図るため、育児・介護休業制度の周知を図っており、2017年度には4名（うち男性2名）が育児休業を取得しました。時間単位の看護休暇・介護休暇制度など法を上回る制度の拡充にも取り組んでいます。
- ・健康経営にも力を入れており、経済産業省の「健康経営優良法人」の認定を受けているほか、栃木県の「とちぎ健康経営宣言」企業でもあり、健康経営を推進していることを、社員や取引先にも周知して取り組んでいます。



（左から）【栃木労働局】局長 浅野浩美、雇用環境・均等室長 下平佳子、【栃木県】産業労働観光部足利労政事務所長 薄井芳江、労働政策課主事 大石彩愛

<今後の課題・取組>

- ・「従業員の所定外労働時間を1人あたり年間200時間以内とする」、「年次有給休暇の取得日数を、1人あたり平均年間12日以上とする」の2つを目標としていますが、2018年度はそれぞれ195.6時間、11.4日でした。平均では、所定外労働時間はクリア、年次有給休暇の取得の方は惜しいところでクリアならずでした。また、平均はクリアしても、全員クリアしているわけではありません。「(うまくいくかどうかわからないけれど) まずやってみよう」という考えのもと、2020年度には5日連続（月曜日～金曜日）の年次有給休暇の取得に試験的に取り組み、実施状況を検証し、2021年度には全員が5日連続で取得できるよう計画を進めています。
- ・女性社員が13名（7.6%）と少ないのが悩みです。ほとんどが事務部門に配置されていますが、2019年度、工場の製造部門に女性1名を配置しました。女性の職域を拡大し、男女ともに活躍できる環境を整備していくことが課題です。



■■訪問しての全体的な印象■■

・「まずやってみよう」精神で、次は、5日連続の年次有給休暇の取得と、女性活躍のさらなる推進にチャレンジ。働きやすさだけでなく、しっかり業績もアップされている様子に、感心させられました。

*****三福工業株式会社の皆様、ありがとうございました。*****

栃木労働局（局長 浅野浩美、雇用環境・均等室長 下平佳子、室長補佐 渡邊宏子、働き方・休み方改善コンサルタント 吉村清和）
栃木県（産業労働観光部足利労政事務所長 薄井芳江、労働政策課主事 大石彩愛）